

Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

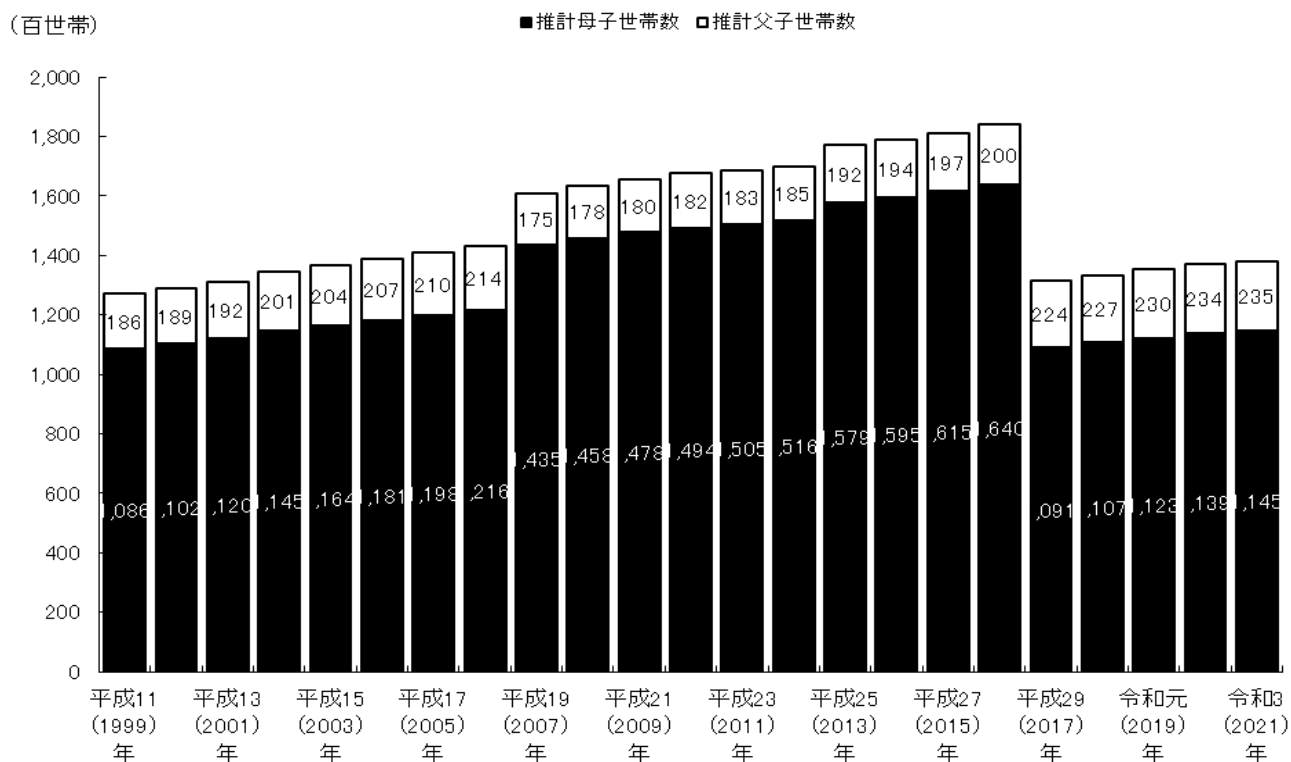
領域Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

Ⅲ－１ ひとり親家庭への支援

１．ひとり親家庭の世帯数

都のひとり親家庭の世帯数は、令和 3（2020）年 1 月 1 日現在で母子世帯が 114,500 世帯、父子世帯が 23,500 世帯と推計されている。

図表Ⅲ－１－１ 母子世帯・父子世帯の推計値（都）（令和 7 年 9 月 1 日 図表を差替）



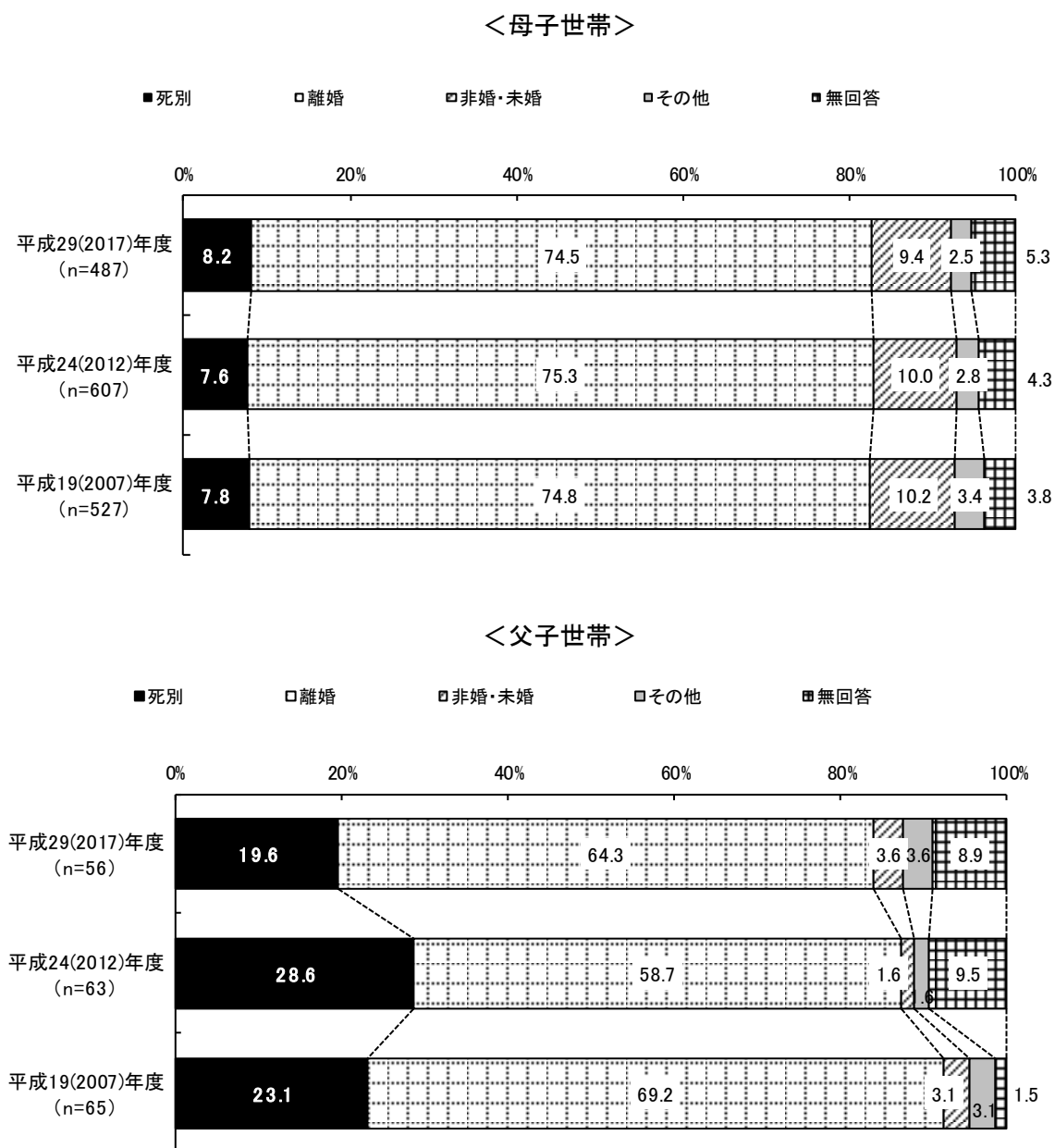
注：東京都福祉保健基礎調査（平成 17 年度以前は東京都社会福祉基礎調査）による、三世帯同居世帯を含む母子家庭・父子家庭の出現率に、東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」における各年 1 月 1 日人口を乗じたものの

資料：東京都福祉保健基礎調査「都民の生活実態と意識」
東京都総務局「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」

2. ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合

都の調査では、平成 29（2017）年度では、ひとり親世帯になった理由は母子世帯においては離婚が 74.5%を占めており、父子世帯においては離婚が 64.3%、次いで死別が 19.6%となっている。
全国調査では、母子家庭においては離婚が 79.5%であり、父子家庭においては離婚が 75.6%、死別が 19.0%であった。

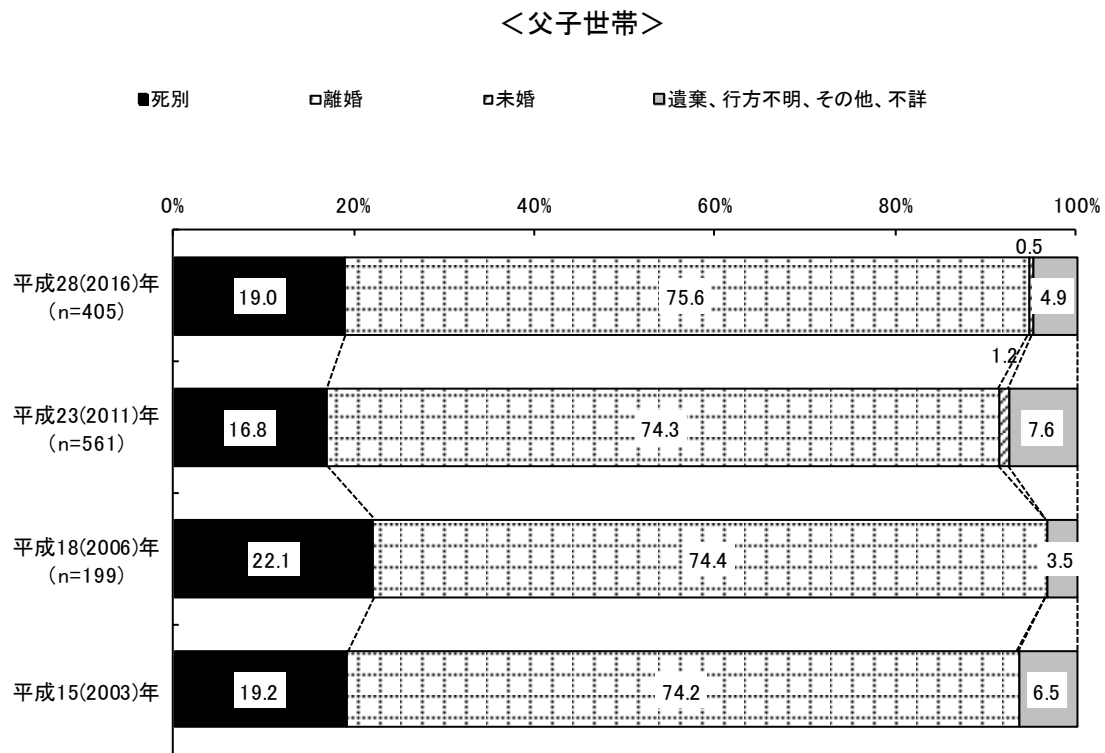
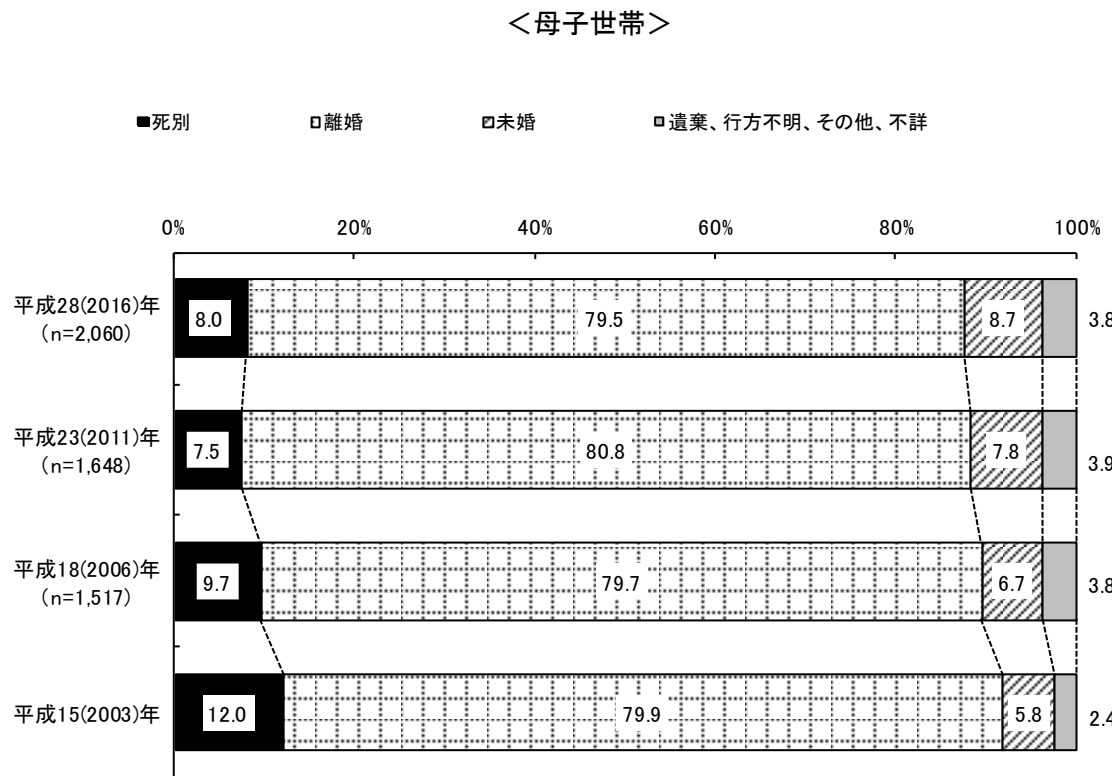
図表Ⅲ－１－２－１ ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合（都）



資料：東京都福祉保健基礎調査「東京の子供と家庭」（平成 29 年度）

Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

図表Ⅲ－１－２－２ ひとり親家庭になった理由別の世帯構成割合（全国）

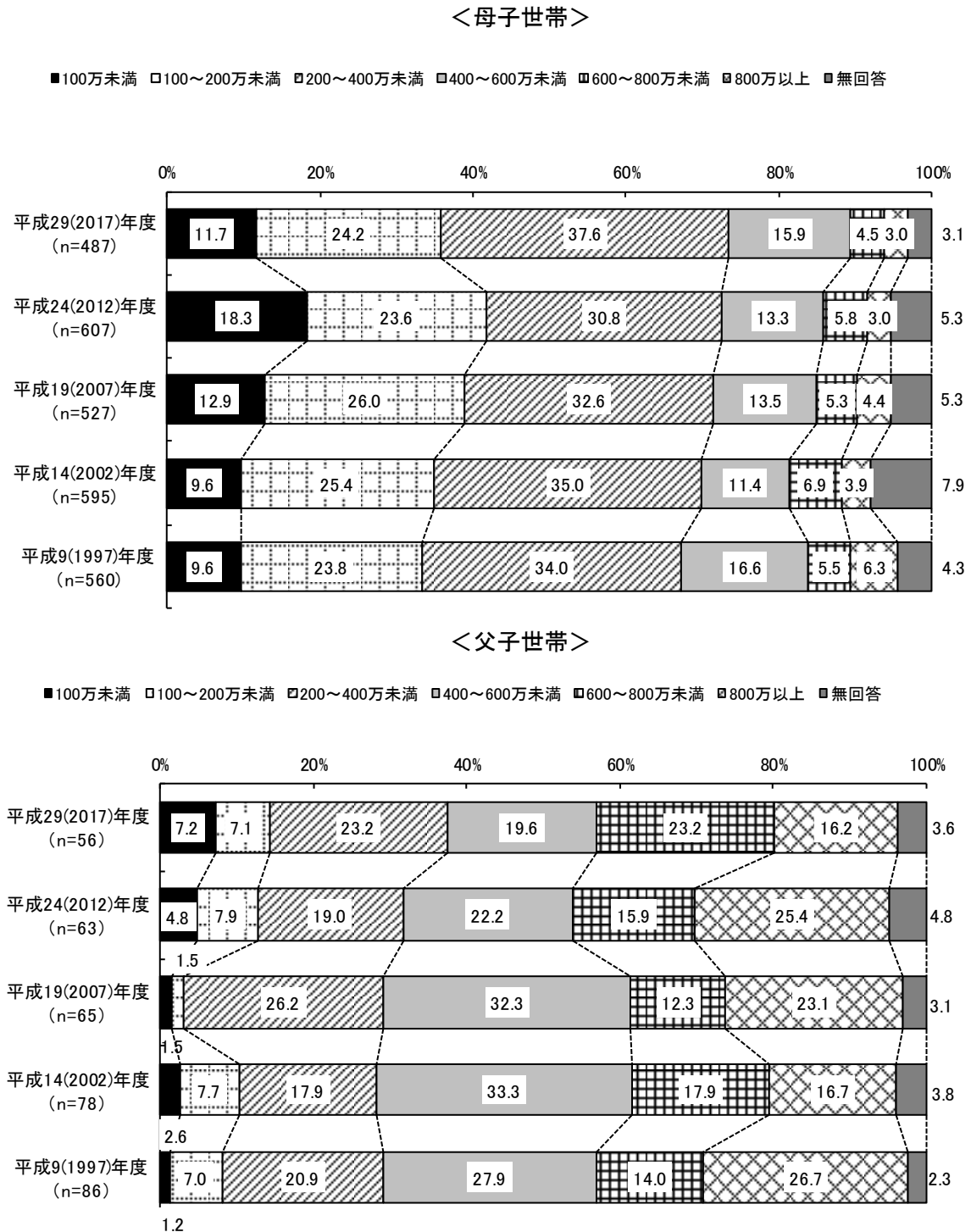


資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（平成28年度）

3. ひとり親世帯の収入

都の調査では、平成 29（2017）年度の母子世帯は平均収入 400 万円未満が 73.5%となっている。一方、父子世帯では 400 万円未満は 37.5%となり、400 万円以上の割合の方が高い。

図表Ⅲ－１－３－１ ひとり親世帯の年間平均収入（都）

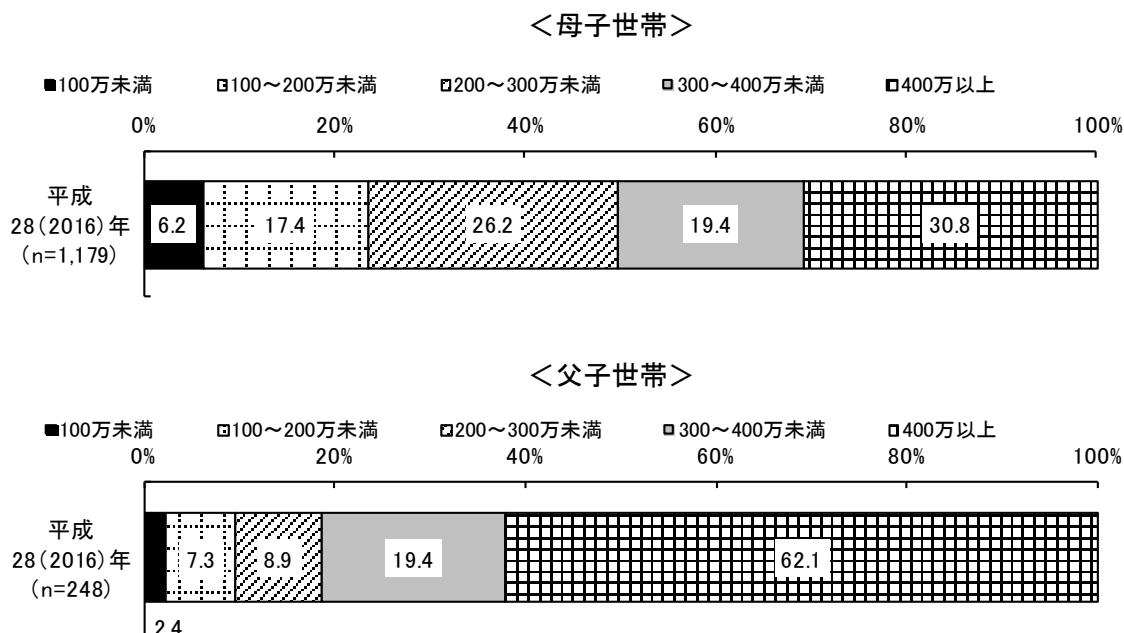


資料：東京都福祉保健基礎調査「東京の子供と家庭」（平成 29 年度）

Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

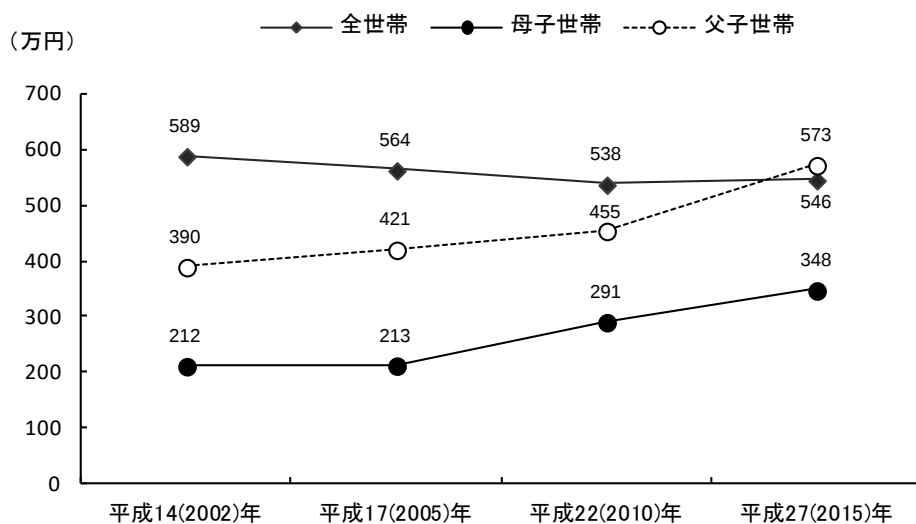
全国調査では、平成 28（2016）年度の母子世帯の平均収入は 400 万未満が 69.2%、200 万円未満は 23.6%である。一方、父子世帯では 400 万円以上が 62.1%、200 万円未満は 9.7%となっている。全世帯の収入との比較では、平成 27（2015）年度で全世帯平均が 546 万円であるのに対し、母子世帯が 348 万円、父子世帯が 573 万円となっている。

図表Ⅲ－１－３－２ ひとり親世帯の年間平均収入（全国）



資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（平成 28 年度）

図表Ⅲ－１－３－３ ひとり親世帯の年間平均収入と全世帯の年間平均収入の比較（全国）



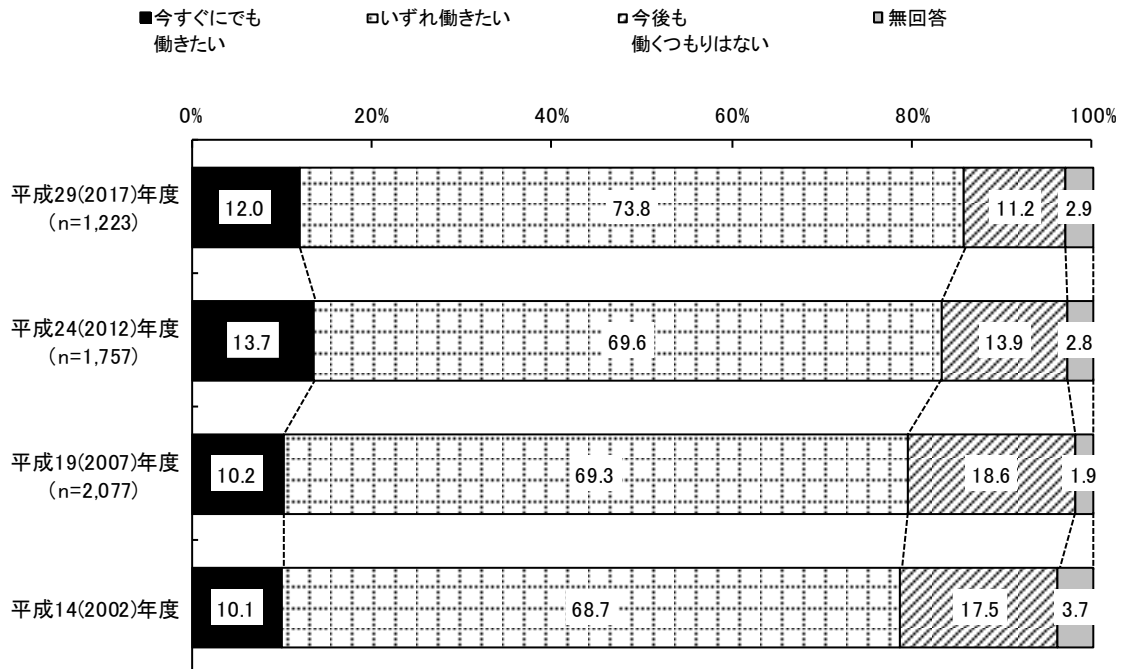
注：全世帯については国民生活基礎調査の平均所得の数値

資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（平成 28 年度）

4. 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等

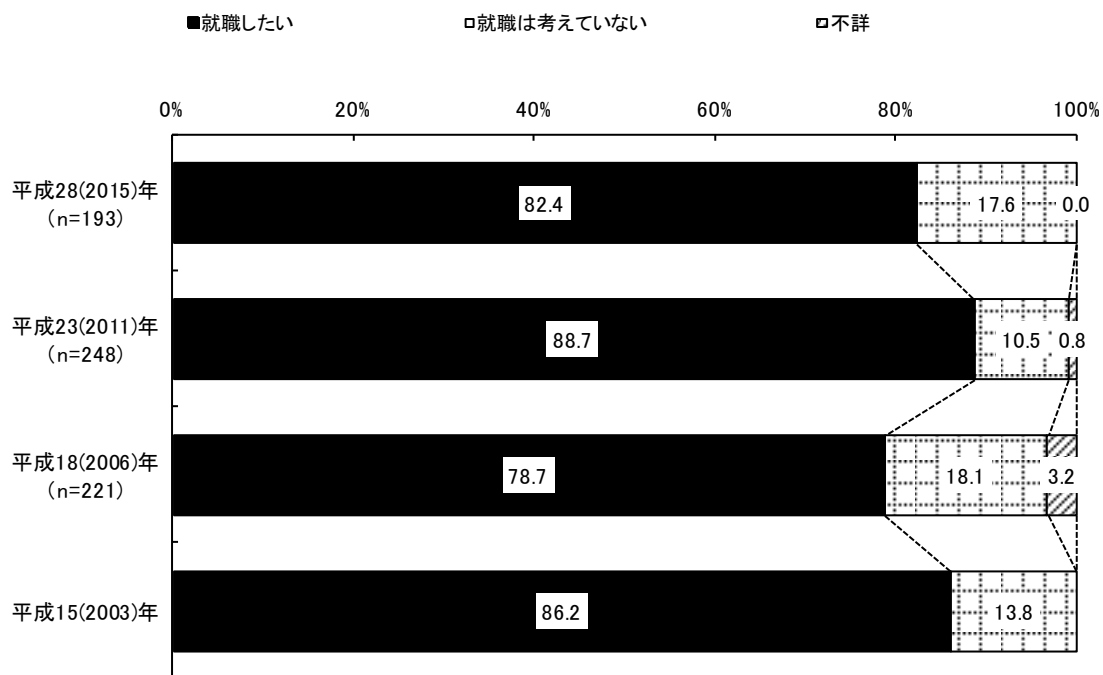
都の調査では、母子世帯の母で就業していないものの就業希望は、85.8%が働きたいと希望している。全国調査においても82.4%が就職を希望している。

図表Ⅲ－１－４－１ 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等（都）



資料：東京都福祉保健基礎調査「東京の子供と家庭」（平成29年度）

図表Ⅲ－１－４－２ 母子世帯の母で就業していないものの就業希望等（全国）



資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（平成28年度）

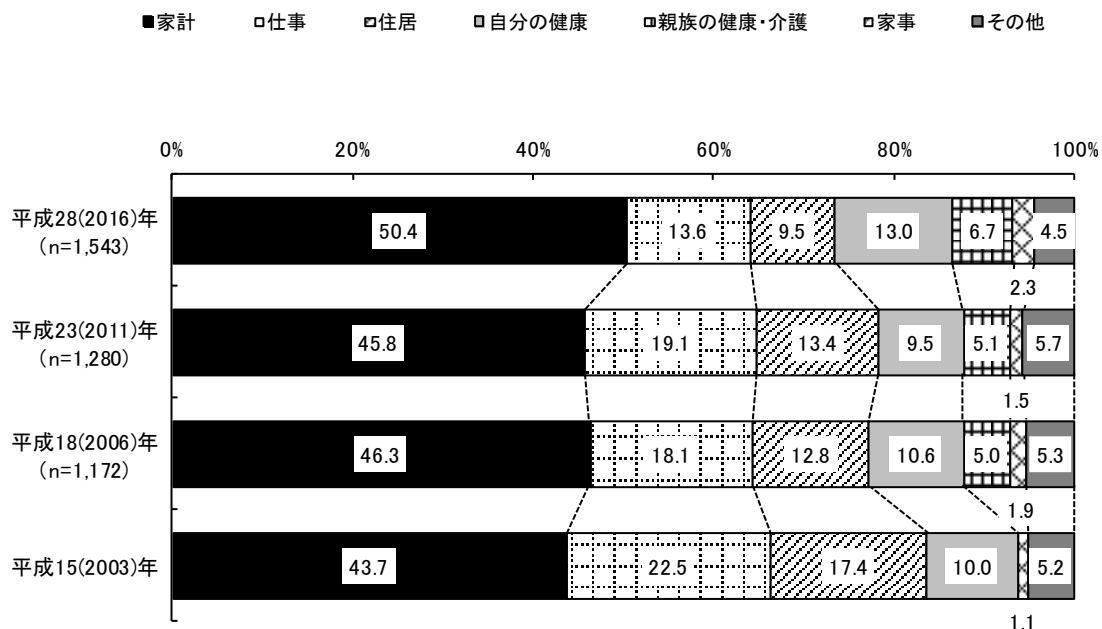
Ⅲ 多様な人々の安心な暮らしに向けた支援

5. ひとり親世帯の困りごと

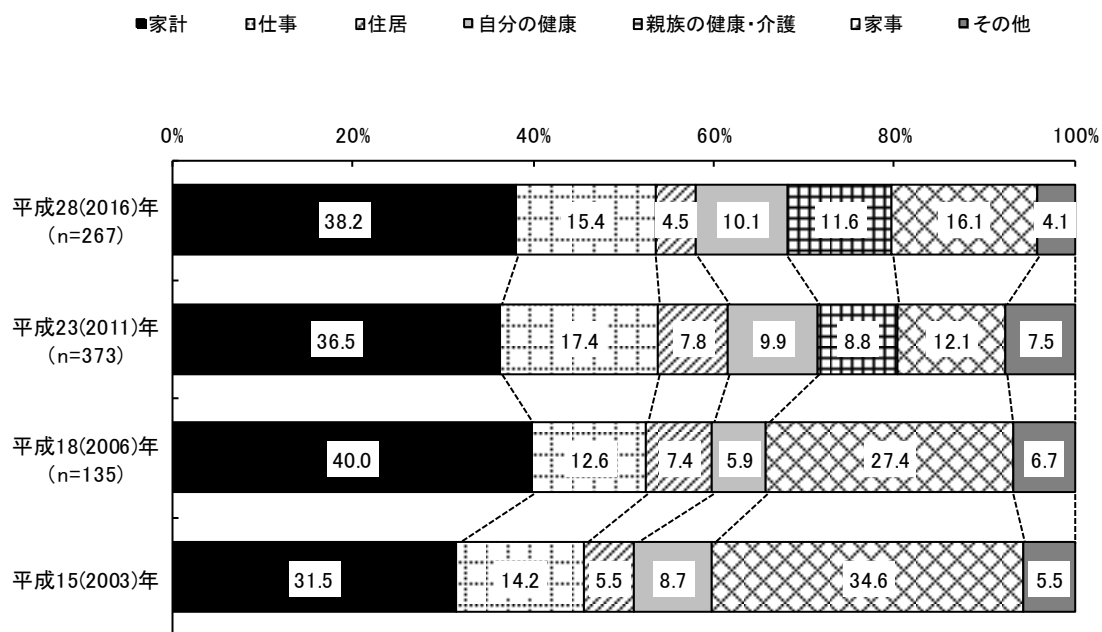
ひとり親世帯で困っていることは、母子世帯の場合、「家計」が 50.4%、「仕事」が 13.6%、「自分の健康」が 13.0%となっている。父子世帯では、「家計」が 38.2%、「家事」が 16.1%、「仕事」が 15.4%となっており、母子世帯との悩みの違いがみられる。

図表Ⅲ－１－５ ひとり親世帯の困りごと（全国）

<母子世帯>



<父子世帯>



資料：厚生労働省「全国ひとり親世帯等調査」（平成28年度）